第５号　議案

令和１年６月８日

令和元年度

ポニーの会　事業計画（案）

1.　はじめに

障害者福祉を取り巻く様々な環境が変化していくなか、31年度当法人は「福祉コミュニティの新たな拠点づくりをめざす」ことに力を注いでいく。毎週火曜日に手芸サロンを、月に一回講師を招いてシルバーリハビリ体操を開催するようになり、地域の方にも高須にあるポニーの家に行くとちょっと面白いと少しずつ認められるようになってきた。「ここへ来ると前に進めるような気がする」「来ているだけで安心する」「頼りになる気がする」などの言葉も聞かれ、今後も地域の困りごと相談窓口としての役割も果たし福祉コミュニティの拠点を目指していく。

さらに、利用者本位のサービスを向上させるために、スタッフマネジメントをすすめていく。すでにＯＪＴ，ＯＦＦ-ＪＴ，ＳＤＳの研修体制は整備しているが、職員のスキルアップを目指すため、ＯＪＴを中心として人材育成に注力したい。特にＯＪＴは、あらゆる仕事における人材育成の要である。リーダーが中心となって日常業務の中で手本を示し適時指導を行う。その際、リーダー独自の方法ではなく、常に最新の作業マニュアルや危機回避のための指示書を確認し指導していく必要がある。この作業マニュアル、危機回避マニュアルをきちんと整備し実践に向けて職員に示していく。

2.　事業方針

2-1　基本方針

障害のある方が地域生活や社会活動を行うことを支援し、すべての人々が共に良い人生をおくれるよう、利用者の視点に立って運営する。

2-2　重点推進項目

(1)　職員の組織強化を図る

31年度はポニーの家多機能、ポニーの家生活介護、ケアホーム夢未来、相談支援キャンディ合わせて常勤職員16名非常勤職員52名運転手８名の体制ですすめていく。仕事の部門ごとにチームを組み結束を固め、職員それぞれが組織の中での自分の位置を自覚し、より良い支援ができるよう努力していく。

31年度のポニーの家は「個々の利用者の強みを見つけ、励ましと称賛を忘れず、一人ひとりが安心と誇りをもって過ごせるよう支援する」という大きな目標をかかげ、さらにその中に所属している小さなグループがそれぞれの目標をかかげ自覚をもって支援にあたっていく。また、ポニーに来るお客様が口々に「職員の皆さんの笑顔がいいですね」と言って下さるので「明るく楽しく笑顔あふれる施設」を社風とすることにした。職員全員にこの社風を示し、誰に対しても笑顔で対応することを徹底し笑顔あふれる施

設にしていきたい。

(2)　職員教育の充実を図る

職員のレベルアップを図るために、開催される研修にはできるかぎり関係職員を参加させ、職員の継続的な資質改善に取り組み、専門資格や知識の習得により支援技術を向上していく。各職員が研修してきたものをより多くの職員にフィードバックする時間をもうけ任意参加の勉強会を開いていこうと計画している。

3. 事業別計画

3-1　ポニーの家多機能

(1) 生活介護

＜平成 31 年度目標＞

作業や余暇活動をとおして、生活能力の向上と健康維持を目指す。

(基本方針)　基本的な生活習慣を身に付け、請負作業やクッキー製造に取り組み、それぞれの能力や個性を充分に発揮し、社会参加の意識を持たせていく。

部門	内容	目標
内職請負作業	請負先：立崎屋（チラシ入れ、他） コーエー（シールはり、他）	納期等に余裕がある時は、いろいろな作業に挑戦し能力の向上を図れるようにする。
クッキー製造	販売場所：ポニーズカフェ、ポニーの家、藤代庁舎売店、はあとぴあ、JA とりで、カフェウェルカム、守谷市役所、あゆみほっとカフェ、各イベント等	一人一人に適した作業スキルの向上を目指し、見守り支援する。

(2) 自立訓練（生活訓練）

＜平成 31 年度目標＞

身辺自立を目指し支援する。

(基本方針)　日常生活能力の維持向上のための訓練、作業等の生産活動や文化活動をとおし、活き活きとした質の高い生活が送れるように支援していく。

部門	内容	目標
手工芸	ステンシル、ビーズ、ミシン刺繍、さをり織り等 販売場所：ポニーズカフェ、ポニーの家、藤代庁舎売店、カフェウェルカム、小さな家、守谷市役所、各イベント等	一人一人の能力に合わせ、様々な製品を作っていき更なるスキルアップを目指す。

(3)就労移行支援

＜平成 31 年度目標＞

就労を目指し、作業リズムを作れるよう支援する。

（基本方針）　就労希望利用者がそれぞれの能力や個性を充分に発揮し、社会的自己実現のためにしっかり基本的生活習慣を身に付け、それらを維持向上させながら就労出来る様支援していく。

部門	内容	目標
クリーン・農業	クリーン：高須体育館、桜が丘集会所、桜が丘自治会館、高蔵寺、 施設内清掃、食器洗浄、洗車等 農業：野菜の栽培、畑の整備、除草作業等	個々のペースを尊重し、みんなで作業に取り組めるようにしていく。
売店・きまま	売店：藤代庁舎売店、利用者売店 喫茶きまま	接客の態度や言葉使いを身に付け、自信を持って接客できるようにする。

(4)就労継続支援B型

＜平成31年度目標＞

自分の役割を理解し、協力して作業できるよう支援する。

（基本目標）　作業に対し強い意欲やスキルを持つ利用者を対象に、パン製造・菓子製造・クリーン・農業などの作業を提供し安定した働きを展開させ、高い工賃が得られるよう支援する。また、作業スキルや就労意識が高まった利用者に対し、一般就労への移行を支援していく。

部門	内容	目標
パン製造	販売場所：ポニーの家、藤代庁舎売店、はあとぴあ等 納品先：ポニーの家（給食用）	自分たちの作ったパンが、誰かの幸せにつながる喜びを感じてもらえるように支援していく。
菓子製造	販売・納品場所：ポニーズカフェ、ポニーの家、藤代庁舎売店、カフェウェルカム、あゆみほっとカフェ、芸大食堂、各イベント等 外部受託：アパート清掃 内部受託：厨房、食器洗浄 農業：にんにく、ジャガイモ栽培他	個々の力が発揮できる環境を整え、協力して作業に取り組めるように支援する。
カフェ	ポニーズカフェ：リボンとりで3階（ドリンクの提供、ラ	丁寧な言葉使いや、大きな声で挨拶するなど基本的な接

	ンチ・ホットサンドの提供、手工芸品・クッキー販売)	客マナーを身に付けられるように支援する。

3-2　ポニーの家生活介護

(1)　生活介護

＜平成 31 年度目標＞

一人一人の個性を大切にしながら安心して楽しい毎日を過ごせるよう支援する

(基本方針)

常時介護が必要な利用者に対し、生活能力や身体機能の維持向上のため、排泄、食事の介助、訓練および創作活動、軽作業を提供する。

(サービス内容)

利用者の状況に応じた生活全般の援助、健康保持のための支援（健康診断・整体マッサージ・歯科検診等)、生きがい作りの活動の場を通し、日常生活の質の向上を目指していく。ドルチェや未来工房では、気持ちの安定を図りながら穏やかな生活がおくれるよう支援していく。また、各作業では、それぞれの力を発揮し作業を通して生きがいを持って過ごせるよう支援していく。

部門	内容	目標
箸作業	内職（箸作業：アオトプラス)	個々の能力に合った作業を提供し、レベルアップを図れるようにする。
ドルチェ	ミュージックケア、リズム体操、制作等を楽しむ 整体マッサージ、歯科検診等	身体の機能維持・向上に努めながら持っている力を少しでも発揮でき、穏やかに過ごせるよう支援する。
製本印刷	名刺、ハガキ印刷、文章打ち込み、カレンダー、写真印刷	個々の能力に合った作業を提供し、レベルアップを図れるようにする。
未来工房	園芸、ペットボトル回収・処理、ビーズ通し、さをり織り、荷物運搬、買い物、給食用野菜皮むき、シュレッダー作業、軽作業、ウォーキング、ラジオ体操	利用者と共に様々な課題に挑戦し、利用者一人一人の力を引き出していく。

3-3　各種事業共通

【１】 創作活動・文化的活動・クラブ活動・レクレーション

①　創作活動

ミュージックベル・創作活動・絵画・音楽・文章講座・フラワ	能力に応じ創作意欲が持てるよう支援する 色々な活動に参加し、生活の質や幅を広げ豊かな生活が

ーアレンジメント　学習	送れるよう支援していく。

② 文化活動

交流会　音楽鑑賞　ＤＶＤ鑑賞　その他	利用者に応じた理解力で自分の力を発揮させ、心に潤いを持たせられるよう支援していく。

③ クラブ活動

放送クラブ、新聞クラブ、ウォーキングクラブ スポーツクラブ、ダンスクラブ、アートクラブ	それぞれに関心があり適性と思われるクラブに所属し、知識や運動能力を高め、心豊かに過ごせるようにする。

④レクレーション

種　類	内　容	目　的
趣味を楽しむ	ＤＶＤ鑑賞、卓球、カラオケ、ボーリング	個々の楽しみを支援する。
自然を楽しむ	近隣の自然	心身のリフレッシュを図る。
季節を楽しむ	お花見など	季節を感じ取り自然に親しむ
地域との関わり	地域のイベントに参加	地域での人々のふれあいと参加の喜びを味わい、生活の幅を広げる。

【２】イベント・年間行事

年間イベント･行事予定

4/1：入所式　5/11：運動会　８月：夏まつり　９月：フェスティバル　10 月：ハロウィン

11 月：ネットワークフェア　12 月：芸術祭 in 取手　１月：成人を祝う会　２月：交流会

【３】防災避難訓練

年３回実施予定

3-4　共同生活援助（介護包括型）ケアホーム夢未来

＜平成 31 年度目標＞

疲れをいやし穏やかに楽しく過ごせる生活環境づくりに取り組む。

＜夢目標＞利用者のコミュニケーションを促し、互いに協力して生活していく

＜未来目標＞利用者の皆の心がやすらぐ場所となるようにする

（基本方針）

自立を目指し、地域で安心して暮らしていきたいという利用者に対し、食事の提供、健康管理、入浴支援、日常生活に関する相談など必要な支援を行い、日常生活能力の維持･向上を目指す。

≪利用者≫

利用定員	14 名

≪職員配置≫

管理者	１名（兼任）

サービス管理責任者	1名
世話人	7人（専任）1名（兼任）
生活支援員	9人

3-5　特定相談支援事業部門（キャンディ）

＜平成31年度目標＞

利用者が自分らしく生きていく力を引き出せるよう支援する。

（基本方針）

利用者一人一人が望む生活に近づけるよう支援を行なっていく。

現在利用中の110名（ポニーの家利用者67名それ以外43名）に対して1ヵ月、3ヵ月、6ヵ月ごとと利用者に応じて期間を定め定期的にモニタリングを行う。その際には、利用している事業所、自宅を訪問し面談し状況を把握する。モニタリング時には、将来への希望とそれに向けてできることはないか、生活面で困っていることはないか、滞っていることはないかを確認し必要に応じて福祉サービス等を紹介し解決を図れるようにする。それ以外にその都度利用者の相談に応じ不安を軽減する。その際は支援者が中心になって生活を組み立てるのではなく、利用者の力に注目し、それが発揮できる状況を作るよう努める。

4.その他　地域貢献

4-1　手芸サロン：毎週火曜日　10：00～14：00

＜平成31年度目標＞

地域の中で、近隣の方たちや保護者の方たちのくつろぎの場として、より多くの方が立ち寄って下さるような環境を整えていく。

（基本方針）

・どなたでも参加できるような手仕事を準備して、手仕事をしながら楽しくおしゃべりできる場を提供していく。

・お花見などの季節行事を計画し、さらにポニーのイベントへの参加を呼びかける。

《31年度予定》

4月2日（火）お花見　（手芸サロン、ポニーズサロンシルバーリハビリ体操の方と共に）

9月28日（土）　ポニーフェスティバル

2月22日（土）　ポニー交流会

4-2　ポニーズサロンシルバーリハビリ体操：毎月第4火曜日

・シルバーリハビリ体操の講師の方を招き、近隣の方たちの健康増進、親睦を目標に月に一回開催する。

4-3　ポニーズカフェ：　適時

＜平成31年度目標＞

一般のレストランなどに行くことが困難な障害のある方や、地域の方に焼きたてパンや食事を提

供していく。
（基本方針）
児童デイの夏休みの昼食の場として、また地域の方たちの集いのお食事処として要請があったときに対応していく。

4-4　福祉避難所
＜平成31年度目標＞
取手市から福祉避難所開設の要請があったら、すぐに動き出せるよう備品を確認し、受け入れ書類の整備をしていく。

（基本方針）
福祉避難所は、より専門的な支援や援護の必要性の高い避難者のために確保されるものである。よって物資、器材、人材、移動手段を確保し避難者の安全に留意する。